



水田転換畑を活用した野菜作導入・検討のための参考資料

【1 成果の概要】

本資料は、集落営農法人等が土地利用型野菜の導入を検討する際に必要となる品目の特徴、作型、収支、目標単収等の情報を品目別にまとめたものです。

各品目の概要（作型表、労働時間、収支、目標単収、主な農具類、共同選果の有無等）を一覧表形式で示した「総括表」（図1）と、品目毎の詳細な情報（管理の特徴やポイント、経営収支（費目別）、主な管理作業と時期別の作業時間（旬別）等）を記載した「品目別表」（図2）で構成されており、掲載品目は以下のとおりです。

品目	露地ピーマン、ねぎ、たまねぎ（春まき）、加工トマト、えだまめ、アスパラガス（二期どり）、加工用ばれいしょ、ブロッコリー（春まき）
----	--

○播種 ―育苗 △移植 ●定植 □収穫期間 ■収穫繁忙期														
品目	作型	作型表・労働時間（時間/10a）※2												収支（F）
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	収入
露地ピーマン	夏秋				△	●	□	□□■	■	□□□	□□			1,610,750
					11.7	8.0	39.0	49.1	96.1	77.1	21.7	7.9		
					施肥	耕起 畦立	定植 誘引	収穫 防除	収穫 防除	収穫 防除	収穫	撤去		
たまねぎ（春まき）	春まき	○	○	○	●	●		□■	■					330,000
		0.7	2.1	1.4	4.3	1.5	1.1	6.8	16.4	4.0	0.1			
			育苗	育苗	定植			収穫 調製	収穫 調製	乾燥 調製	耕起			

図1 総括表（一部抜粋）

露地ピーマン 想定規模1ha

○特徴

- ・県内全体で栽培されており、夏秋期のニーズが高い。
- ・排水不良の圃場では、明渠や暗渠排水の施工が必要。
- ・JAから苗の供給あり(自家育苗も可能)。
- ・JAの共同選果施設があり、出荷調整作業が省力化できる。
- ・収穫作業に人手が多く必要。

○管理・作業の特徴、ポイント

- ・排水対策は必ず行う。
- ・土壌が乾燥すると、減収や尻腐果が発生するため、簡易かん水装置を入れること。
- ・収穫遅れは草勢や品質の低下につながるため、適期収穫が必要である。
- ・作業適期(定植、収穫)に作業をするため、必要作業人数(4~5人)を確保する。

○経営収支



○主な栽培管理と作業時間(単位:時間/10a)

月	旬	主な管理作業
5	上	耕起
	中	基肥施肥
	下	畦立・マルチ
6	上	定植
	中	誘引準備
	下	収穫 病害虫防除

図2 品目別表（一部抜粋）

【2 留意事項】

各シートの内容は、今後の研究成果などを踏まえ、適宜更新していく予定です。

【3 活用場面】

基盤整備事業の計画作成や土地利用型野菜導入の検討の際の参考となります。